

# 実地経験マニュアル

---

Ver. 1

- 研修中 OT
- 上位者 OT
- 前期研修・実地経験修了確認者 用

日本作業療法士協会

作成 2025 年 4 月

このマニュアルでは、登録作業療法士制度における『**実地経験**』の進め方（手続き）を示します。

なお、登録作業療法士（以下、登録 OT）を目指して研修・研鑽を遂行している作業療法士を、「**研修中 OT**」と呼びます。

また、研修中 OT に指導・助言・確認を行い、研修・研鑽の遂行を支援する管理者や先輩作業療法士などを「**上位者 OT**」と呼びます。

## 【目次】

### I. 実地経験 概要

1. 実地経験とは何か・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
2. 実地経験を登録作業療法士制度に導入する目的・・・・・・・・・・・・・2
3. 実地経験の位置づけと構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
4. 実地経験を構成する3者とその役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
5. 実地経験で使用するツール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
6. 実地経験の進め方（概要）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

### II. 実地経験の進め方

1. 前期研修・実地経験の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
2. 後期研修・実地経験の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

### 付録

1. 前期研修・実地経験の進め方フロー図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
2. 前期研修・実地経験修了確認（クリニカルラダーレベル I 到達確認）の進め方と LMS への提出手続きフロー図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

# Ⅰ. 実地経験 概要

## 1. 実地経験とは何か

登録作業療法士制度における実地経験とは、**現場における作業療法士としての経験そのもの**を指します。自施設内での研修、日々の実務における上位者 OT（管理者や先輩 OT など）からの指導や助言および主体的な見学や学習をふまえた実践の経験、臨床推論や成果・結果を吟味する経験、カンファレンスなどでの情報伝達の経験、さらには、自施設外で開催される研修などでの研鑽経験も含まれます。

## 2. 実地経験を登録作業療法士制度に導入する目的

- 1) 前期研修、後期研修を遂行中の研修中 OT が、各施設・組織内および自施設外で、**主体的**に必要な指導・助言・確認を受けつつ研鑽し、**計画的、段階的に標準的な実践能力**を修得すること
- 2) 研修中の OT が属する施設・組織における学修（指導・助言）体制導入を促進すること

## 3. 実地経験の位置づけと構成（図1）

実地経験は、研修中 OT が登録 OT を目指して遂行する前期研修、後期研修の一部です。そして、登録作業療法士制度における実地経験は、**自施設「内」実地経験**と**自施設「外」研鑽経験**で構成します（図1）。

◆**自施設「内」実地経験**とは、自施設・組織内での研修や上位者の助言・指導・確認を得て行う日々の実践経験です。

◆**自施設「外」研鑽経験**とは、OT 協会の規定により基礎研修ポイント付与に該当する学会・研修会など<sup>1</sup>での研鑽経験です。

研修中 OT は、5年の研修中、様々な学会や研修会などに参加し、**自施設「外」研鑽経験**にも励んで下さい。

---

<sup>1</sup> 基礎ポイント付与に該当する学会、研修会は、OT 協会ホームページの**基礎ポイント**についておよび**SIG 等認定一覧**を確認してください。

なお、前期研修・実地経験では、自施設「外」研鑽経験の対象となる学会・研修会と回数に「必須要件」があります。

研修中 OT が登録 OT を目指して遂行する標準的行程を図 2 に示します。

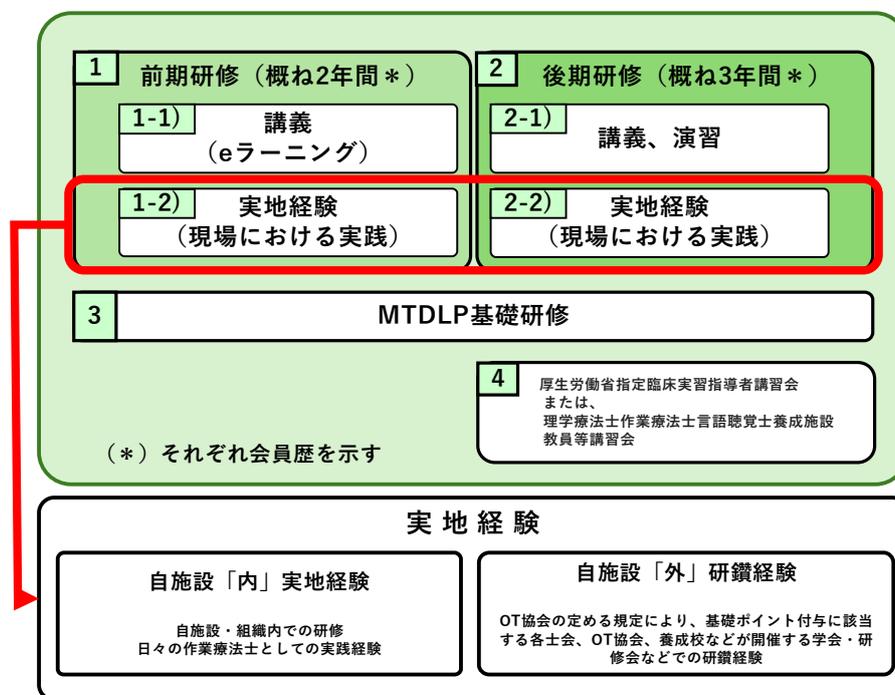


図 1 実地経験の構成

		1. 前期研修		2. 後期研修		
		OT協会員歴 1年目 前期研修 1年目	OT協会員歴 2年目 前期研修 2年目	OT協会員歴 3年目 後期研修 1年目	OT協会員歴 4年目 後期研修 2年目	OT協会員歴 5年目 後期研修 3年目
講義		1-1) 講義 (eラーニング)				
講義・演習				2-1) (新) 現職者共通研修、(新) 現職者選択研修		
		1-2)		2-2)		
実地経験	ア 自施設「内」 実地経験					
	イ* 自施設「外」 研鑽経験	研鑽対象の学会・研修会と回数に必須要件あり				
3. MTDLP 基礎研修						
4. 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会 または 理学療法士作業療法士言語聴覚士養成施設教員等講習会						

\* : 基礎研修ポイント対象の学会・研修会などへの参加

図 2 研修中 OT が登録 OT を目指す標準的 行程

#### 4. 実地経験を構成する3者とその役割

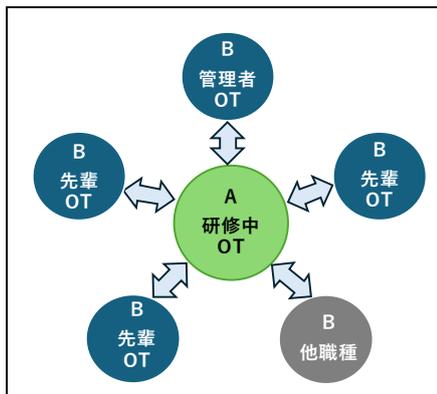
実地経験は、**研修中 OT**、**上位者 OT**、**前期研修・実地経験修了確認者**の3者が構成します。それぞれの役割を表1に示します。また、3者の関係を図2に示します。

なお、3者のうち、**前期研修・実地経験修了確認者**は、表1の要件を満たしている者でなければなりません。

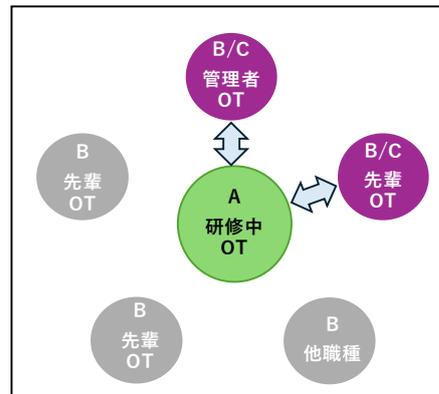
表1 実地経験を構成する3者の役割と前期研修・実地経験修了確認者の要件

実地経験を構成する者		役割
A	研修中OT (前期研修・後期研修中のOT)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に必要な指導・助言・確認を得て、実地経験の目標を設定</li> <li>主体的に必要な指導・助言・確認を得て、作業療法実践能力を段階的に修得</li> <li>実地経験の目標と進捗を自己管理</li> </ul>
B	上位者OT (各施設・組織の管理的立場のOTや先輩OTなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修中OTの実地経験の目標について指導・助言・確認し、合意</li> <li>研修中のOTに適切な指導・助言・確認を行い、作業療法実践能力の段階的な修得を支援</li> <li>研修中OTの実地経験の進捗、目標到達を確認、自己管理の促し</li> </ul>
C	前期研修・実地経験修了確認者	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修中OTとともに前期研修・実地経験の修了を確認する</li> </ul>

C 前期研修・実地経験修了確認者の要件	
原則要件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修中のOTと同じ施設・組織に属するOT協会員である者</li> <li>2. 登録作業療法士である者</li> </ol>
暫定要件 *2030年3月末まで	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修中のOTと同じ施設・組織に属するOT協会員である者</li> <li>2. 以下の講習会、研修会のいずれかを修了し、認定証を提出できる者               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 厚生労働省指定の臨床実習指導者講習会</li> <li>2) 理学療法士作業療法士言語聴覚士養成施設教員等講習会</li> <li>3) OT協会による臨床実習指導者中級・上級研修会</li> </ol> </li> </ol>



\*「B:上位者OT」には、各施設・組織内で行われる他職種による指導や助言も含む



\*「C:前期研修・実地経験修了確認者」の要件を満たしている者が、研修中OTの前期研修・実地経験修了確認を行う

図2 実地経験を構成する3者の関係

## 5. 実地経験（主に自施設内実地経験）で使用するツール

実地経験を計画的、段階的に進めるため、OT協会版の3種のツールを作成しました。その使用目的を表2に示します。

3つのツールは、OT協会のホームページからダウンロードして使用してください。

表2 実地経験で使用するOT協会版ツールと使用目的

【OT協会版ツール】		使用目的
①	実地経験 自己チェックリスト	研修中OTが実地経験の進捗を自己管理するため、実施可能となった事項を自己チェックする
②	実地経験 目標自己管理シート	研修中OTが実地経験において修得すべき知識、技術、態度、研鑽経験などの目標を具体的、段階的に設定し、進捗を自己管理する
③	前期研修 実地経験 修了確認表	研修中OTが、前期研修・実地経験を修了したことを実地経験修了確認者とともに確認する

- ◆ ①、②は【OT協会版】でなく、【自施設版】の新人教育ツールなどを使用していただけるとよい
- ◆ ③は、研修中OT全員が共通に使用する

なお、OT協会版のツール①と②に該当するものが、自施設にある場合は、OT協会版に替えて、自施設版のツールを使用してください。

ただし、③前期研修 実地経験修了確認表は、すべての研修中OTが前期の実地経験修了確認のため共通に使用します（自施設に実地経験修了がない場合を除く）。

※今後、自施設用に①、②に相当するツールを新たに作成する場合は、OT協会版を参考に作成してください。

## 6. 実地経験の進め方（概要）

### 1) 5年間（前期2年、後期3年）の実地経験の進め方（概要）（図3）

#### (A) 研修中 OT

(B) 上位者 OT（管理者や先輩 OT など）から、**主体的**に必要な指導・助言・確認を得て、**計画的、段階的**に実地経験を進め、標準的な作業療法実践能力を修得します。

この時、①実地経験自己チェックリストおよび②実地経験目標自己管理シート（もしくは OT 協会版①、②に該当する「自施設版」ツール）を用いて、実地経験の進捗と実践能力の獲得を自己チェック・自己管理します。

#### (B) 上位者 OT

(A) 研修中 OT に適切な指導・助言・確認を行い、**主体的、計画的**な実地経験の遂行と**段階的**な実践能力の獲得を支援します。

支援は、**段階的・漸減的**に行い、(A)研修中 OT が標準的な作業療法を独力で実践できる能力の修得を促します。

#### (C) 前期研修・実地経験修了確認者

③実地経験修了確認表を用い、(A) 研修中 OT の前期研修・実地経験修了 (OT のクリニカルラダーレベル I 到達) を確認します。

\* 後期研修・実地経験の修了を確認する必要はありません。

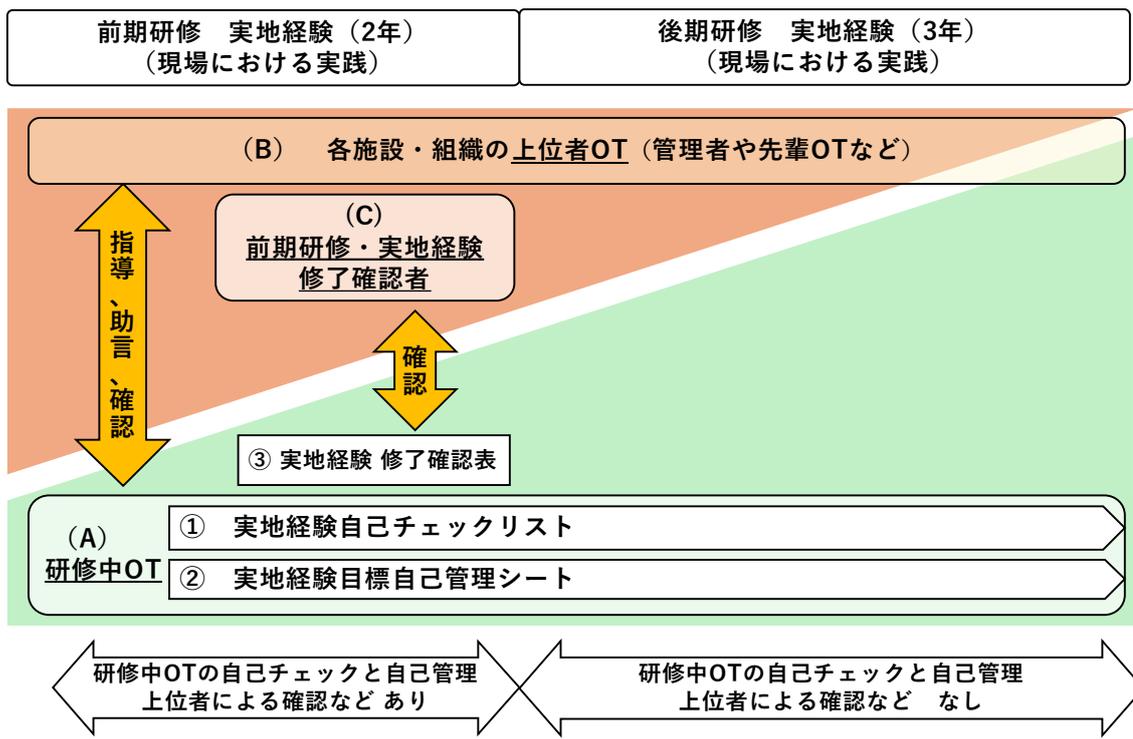


図3 5年間（前期2年、後期3年）の実地経験の進め方（概要）

## II. 実地経験の進め方

これ以降は、OT 協会版のツール①、②、③を使用して実地経験を進める場合を説明します。OT 協会版①、②に該当する「自施設版」ツールを使用する場合は、該当箇所を自施設版に読み替えて読み進めてください。

### 1. 前期研修・実地経験の進め方

前期研修・実地経験の開始から修了確認までの進め方の（例）を図4に示します。

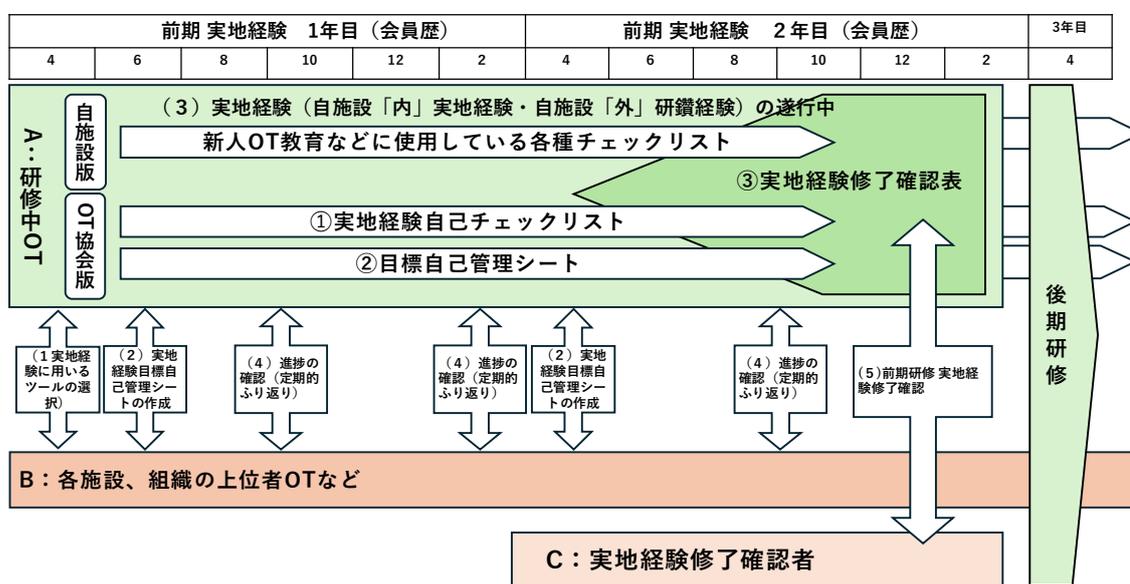


図4 前期研修・実地経験 開始から修了確認までの進め方（例）

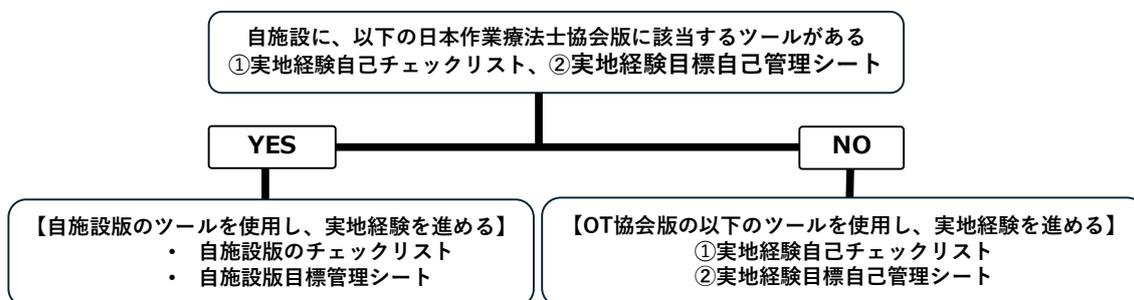


図5 実地経験に用いるツールの選択

## 1) 実地経験に用いるツールの選択 (図4, 図5)

### (A) 研修中 OT

(B) 上位者 OT の指導・助言を得て、使用するツール (OT 協会版 または 自施設版) を選択します。

### (B) 上位者 OT

OT 協会版①実地経験自己チェックリスト、②実地経験目標自己管理シートに該当する自施設版ツールの有無を確認し、(A) 研修中 OT に、使用するツール (OT 協会版または自施設版) を伝達します。

\* OT 協会版のツール①と②に該当するものが、自施設にある場合は、OT 協会版に替えて、自施設版のツールを使用してください。

\* 実地経験には、各種学会、研修会への参加などの自施設「外」研鑽経験を含んでいます。このため、自施設版ツールを用いて前期研修の実地経験を進める際は、必要な自施設「外」研鑽経験をあらかじめ確認して実地経験を進めるよう促してください。

## 2) 実地経験目標自己管理シートの作成 (図4)

### (A) 研修中 OT

①実地経験自己チェックリストと③前期研修 実地経験修了確認表を確認し、主体的に必要な指導・助言・確認を得て②実地経験目標自己管理シートを作成します。

\* ②実地経験目標自己管理シートは、毎年作成します。

\* ②実地経験目標自己管理シートは、③前期研修 実地経験修了確認表の確認事項および到達レベルを確認した上で、作成することを推奨します。

### (B) 上位者 OT

①実地経験自己チェックリストと③前期研修 実地経験修了確認表を参考に、各々の施設・組織に適合する目標自己管理シートの作成を支援し、(A) 研修中作業療法士の目標と具体的行動について合意します。

\* OT 協会版②実地経験目標自己管理シートは、研修中 OT が毎年作成します。

\* ③前期研修 実地経験修了確認表の確認事項および到達レベルを確認の上で、研修中 OT に対する支援 (指導、助言、確認) と、合意を行うことを推奨します。

### 3) 実地経験（自施設「内」実地経験・自施設「外」研鑽経験）の遂行中（図4）

#### (A) 研修中 OT

主体的に (B) 上位者 OT の指導・助言・確認を得て、計画的に実地経験を進め、実施可能になった項目とレベルを、④実地経験自己チェックリストに記入してゆきます。

- \* 自施設「内」実地経験だけでなく、自施設「外」研鑽経験<sup>2</sup>を積み、前期研修・実地経験における「必須要件」を満たすよう計画的に進めてください。
- \* 前期研修・実地経験の自施設「外」研鑽経験の必須回数は表3の通りです。
- \* 自施設・組織内の前期研修・実地経験修了確認者の有無で、参加すべき学会や研修会と必須回数に違いがあります。注意して計画的に研鑽を進めてください。
- \* (A) 研修中 OT は、自施設「外」研鑽を計画的に行うため、「**自施設、組織内の作業療法士の内、だれが前期研修・実地経験修了確認者の要件を満たしているか**」という情報を、できる限り早期から、各施設・組織の上位者から適宜得てください。この情報は、前期研修・実地経験修了確認を滞りなく行うためにも重要です（図6）。

表3 実地経験における 自施設「外」研鑽経験と前期研修・実地経験における「必須回数」

実地経験における 自施設「外」研鑽経験 (基礎ポイント付与に該当する学会・研修会など)	前期研修・実地経験における「必須回数」 自施設・組織内に実地経験修了確認者	
	あり	なし
	1) 所属する各士会主催・共催の学会や研修会など	1)を2回以上
2) 基礎ポイント対象の学会や研修会など	かつ	
3) 養成校が開催する研修会など	合計4回以上	

#### (B) 上位者 OT

(A) 研修中 OT に適切な指導・助言・確認を行い、実地経験の計画的な遂行と段階的な実践能力の獲得を支援します。

<sup>2</sup> 自施設「外」研鑽経験とは、OT協会の規定により基礎研修ポイント付与に該当する学会・研修会などでの研鑽経験です。基礎ポイント付与に該当する学会、研修会は、協会ホームページの基礎ポイントについておよびSIG等認定一覧を確認してください。

\*研修中 OT が、自施設「外」研鑽を計画的に行うため、「自施設、組織内の作業療法士の内、だれが前期研修・実地経験修了確認者の要件を満たしているか」という情報を、できる限り早期から、(A) 研修中 OT に、適宜、提供してください。

\*この情報は、(A) 研修中 OT が、自施設「外」研鑽を計画的に行うため（表 3）、さらに前期研修・実地経験修了確認を滞りなく行うため（図 6）に非常に重要です。

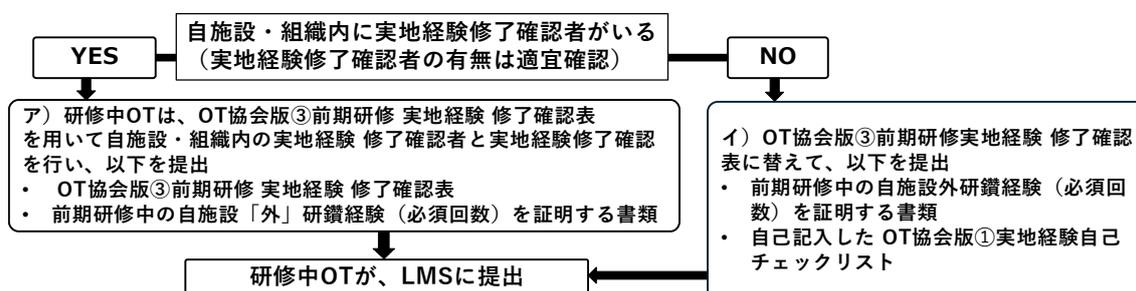


図 6 実地経験修了確認者の有無による前期研修・実地経験修了確認と LMS への提出手続き

#### 4) 進捗の確認・定期的ふり返り（概ね半年ごと）（図 4）

##### (A) 研修中 OT

概ね半年程度の期間ごとに、①実地経験自己チェックリストと、②実地経験目標自己管理シートを用いて目標達成度を振り返り、次期の目標と具体的行動を計画します。

##### (B) 上位者 OT

概ね半年程度の期間ごとに、(A) 研修中 OT が記載する①実地経験自己チェックリストと、②実地経験目標自己管理シートから実地経験の進捗状況を確認し、次期の目標と具体的行動計画について適切な指導、助言、確認を行います。

#### 5) 前期研修・実地経験修了確認（図 4）

修了確認の手続きは、自施設に前期研修・実地経験修了確認者の有無によって異なります。

## i) 自施設・組織内の実地経験修了確認者による修了確認を行う場合 (図6ア)

### (A) 研修中 OT

前期研修・実地経験2年目 (OT協会会員歴2年目) 以降に、(C) 前期研修・実地経験修了確認者と前期研修・実地経験修了の相互確認 (クリニカルラダーレベル1到達) を行います。

- \* 必ず OT協会版③前期研修・実地経験修了確認表を用います。
- \* 修了確認を行う時期は、前期研修・実地経験修了確認者と相談のうえ決めてください。
- \* 研修中 OT は、実地経験2年目 (OT協会会員歴2年目) 以降であれば、いつの時期でも前期研修・実地経験修了確認を受けることができます (図4)。
- \* ただし、前期研修・実地経験修了確認を受けるまでに、自施設「外」研鑽経験の必須回数を満たしていることが必要です (本資料、表4を参照)。

### (C) 前期研修・実地経験修了確認者

(A)研修中 OT の、前期研修・実地経験修了の相互確認 (クリニカルラダーレベル1到達) を行います。

- \* 必ず、OT協会版③前期研修・実地経験修了確認表を用いてください。
- \* 前期研修・実地経験修了確認者の要件は、本資料 表1 実地経験を構成する3者の役割と前期研修・実地経験修了確認者の要件に示します。
- \* 前期研修・実地経験修了確認を行う時期は、研修中 OT と相談して決めてください。
- \* 前期研修・実地経験修了確認は、研修中 OT が、実地経験2年目 (OT協会会員歴2年目) 以降であれば、いつの時期でも実施できます。

## ii) 自施設・組織内に前期研修・実地経験修了確認者がいない場合 (図6イ)

### (A) 研修中 OT

2年の実地経験を経て、自身の実践能力が前期研修の到達レベル (クリニカルラダーレベルI) に達しているか、自己確認し、OT協会版①実地経験自己チェックリストに記入してください。

- \* 自己確認と①実地経験自己チェックリストへの記入は、前期研修の実地経験2年目 (OT協会会員歴2年目) 以降に行ってください。
- \* 自己確認を行うまでに、自施設「外」研鑽経験の必須回数を満たしていることが必要です (表3を参照)。

\* 研修中 OT は、実地経験 2 年目（OT 協会会員歴 2 年目）以降であれば、いつの時期でも前期研修・実地経験修了の自己確認を行うことができます（図 4）。

## 6) 前期研修・実地経験修了確認後の手続き（図 6）

### (A) 研修中 OT

#### i) 自施設・組織内の前期研修・実地経験修了確認者が修了確認を行った場合

(B) 上位者 OT とともに作成した、(1)OT 協会版③前期研修・実地経験修了確認表と、(2)前期研修中の自施設「外」研鑽経験（必須回数 2 回）を証明する書類（会員ポータルサイト内当該部分）を OT 協会の LMS に提出する。

\* LMS への提出方法は、OT 協会のホームページを確認して行う。

#### ii) 自施設・組織内に前期研修・実地経験修了確認者がいないため、自己確認を行った場合

自己チェック（記入）した(1)OT 協会版①実地経験自己チェックリストと、(2)前期研修中の自施設「外」研鑽経験（必須回数 4 回）を証明する書類（会員ポータルサイト内当該部分）を OT 協会の LMS に提出する。

\* LMS に提出するのは自施設版ではなく、OT 協会版の①実地経験自己チェックリストである。

\* 提出方法は、OT 協会のホームページを確認して行う。

前期研修・実地経験の進め方および修了確認の進め方のフロー図を、本マニュアルの付録に示しました。  
概要の把握のため、ご活用ください。

## 2. 後期研修の实地経験の進め方（図1中の2-2）

以下、後期研修 实地経験の手順は、OT 協会版の①实地経験自己チェックリスト、②实地経験目標自己管理シートを用いて实地経験を進める場合を示しています。

自施設版ツールを用いる場合は、自施設のマニュアル（手順書）に則って实地経験を進めてください。

### 1) 实地経験目標自己管理シートの作成（図4）

#### (A) 研修中 OT

OT 協会版の②实地経験目標自己管理シートを用い、主体的に实地経験の目標を設定し、具体的行動（取り組み）計画を作成します。作成の際、必要に応じて

(B) 上位者 OT の助言、確認を求めます。

\* OT 協会版②实地経験目標自己管理シートは、毎年作成することが望ましい。

\* ②实地経験目標自己管理シートは、作業療法士のクリニカルラダーⅡ、Ⅲ、Ⅳレベルおよび登録 OT の到達レベルⅤを確認して作成することが望ましい。

#### (B) 上位者 OT

(A) 研修中 OT が行うⅡ实地経験目標自己管理シートの目標設定および具体的業動（取り組み）計画の作成を、必要に応じ、支援（助言、確認）する。

\* 作業療法士のクリニカルラダーⅡ、Ⅲ、Ⅳ、登録 OT の到達レベルⅤを確認の上で、研修中 OT に対する支援（助言、確認）を行うことが望ましい。

### 2) 实地経験（自施設「内」实地経験・自施設「外」研鑽経験）の遂行

#### (A) 研修中 OT

必要に応じて (B) 上位者 OT などの指導・助言を得つつ、主体的、計画的、段階的に实地経験を進め、実施可能になった項目とレベルを、①实地経験自己チェックリストに自己記入（チェック）し、進捗を自己確認します。

#### (B) 上位者 OT

(A) 研修中 OT に、必要に応じて、適切な指導・助言を行い、研修中 OT の主体的、計画的な实地経験の遂行と段階的な実践能力の修得を支援します。

### 3) 進捗の確認・定期的ふり返り（概ね半年ごと）

#### (A) 研修中 OT

概ね半年程度の期間ごとに、主体的に①実地経験自己チェックリストと、②実地経験目標自己管理シートを用いて目標達成度を振り返り、次期の目標と具体的行動を計画します。

#### (B) 上位者 OT

必要に応じて、(A) 研修中 OT が作成する①実地経験自己チェックリストと、②実地経験目標自己管理シートを確認し、実地経験の進捗状況を把握し、助言します。

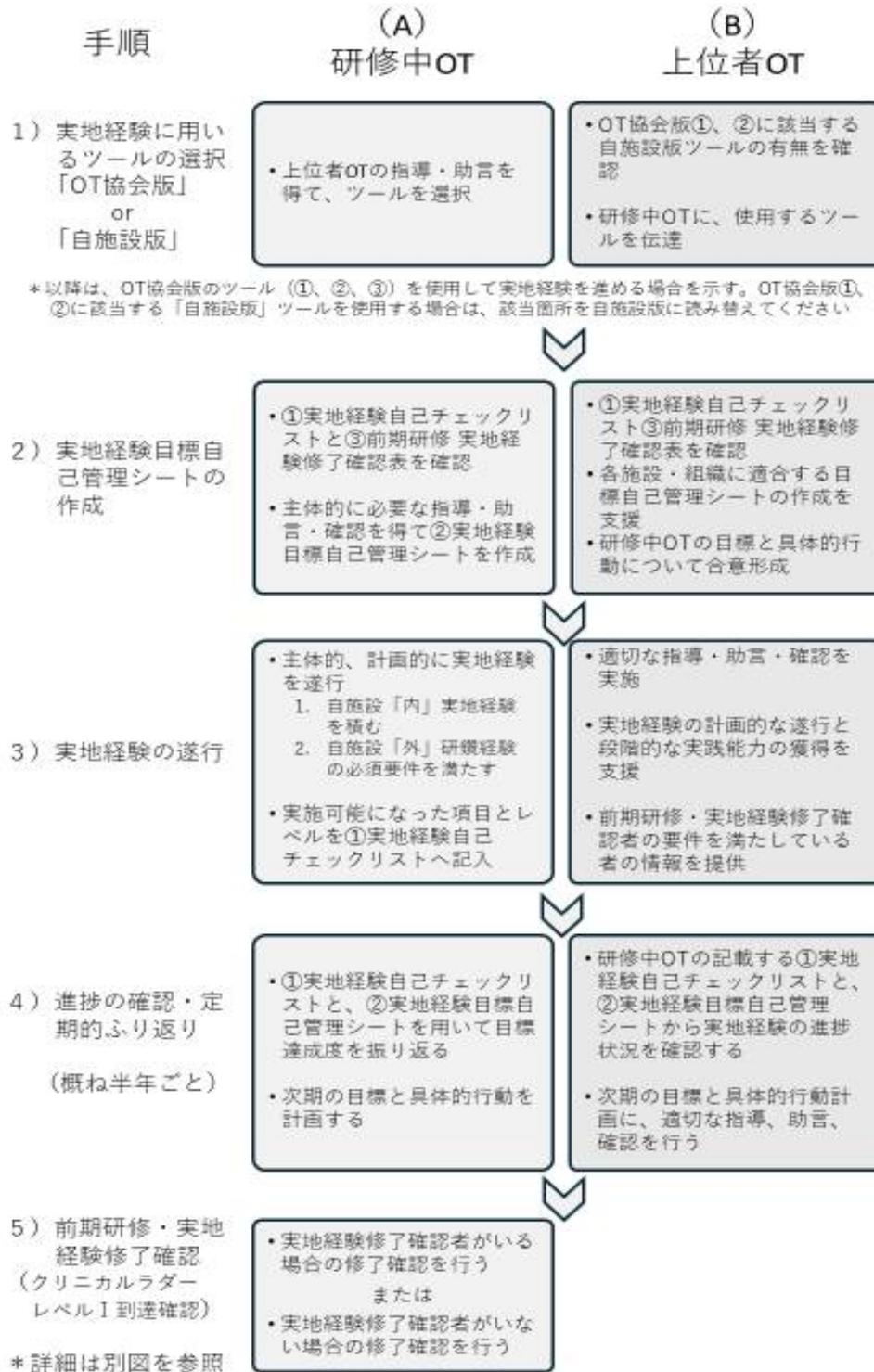
### 4) 後期研修 実地経験修了時の手続き

#### (A) 研修中 OT

- \* 登録 OT 申請の要件が揃った時点で、後期の実地経験は修了します。
- \* 後期研修の実地経験修了時に行う手続きは、特にありません。
- \* 実地経験に用いたツールは、自己管理・保存しておくことが望ましいです。

付録1

前期研修・実地経験の進め方



## 付録2

### 前期研修・実地経験修了確認（クリニカルラダーレベルⅠ到達確認）の進め方とLMSへの提出手続き

